

# 心配される農協貯金の流出

今回の住専処理策の最大の目的は、金融秩序の安定だった。ところが国会での住専論議が深まるにつれ、当初の目的とは反対に、農協から貯金が流出するという非常事態が起きている。どれぐらい貯金の流出が起きているのか、読者からの問い合わせが殺到した。



このコーナーでは、農業をめぐるわかりにくい疑問や解決しにくい問題に、法律に詳しいジャーナリストが答えます。さて、今回の質問は？

Q：農協貯金の流出は、具体的にどれくらい起こっているか、わかるのですか。

A：農協貯金の公表数字によれば、今年3月末の農協貯金の総残高は1948年に統計を取り始めて以来初めて、前年同月比でマイナスに転じました。4月末はさらに拡大して0・6%の減少となりました。そして、農協貯金は、都道府県別の統計数字を4月から公表しなくなったのです。

Q：それはどういう意味ですか。

A：大きく減少を示している都道府県もあるからでしょう。都道府県別の数字を公表すれば、信用不安が起きるのではないかと極端に恐れているようですね。静かな取り付けと見る向きもあります。

Q：なぜ貯金流出が起きたのですか。

A：住専に無審査・無担保・無保証で5

兆5000億円も貸し込みながら、自分たちには何の落ち度もないと開き直り、大蔵省や銀行に責任を押しつけようとしたことに、国民ばかりか組合員農家からも「ノー」を突きつけられたということでしょう。農協は大事なお金を預けるに相応しくないと認定されてしまったんですね。

Q：この農協でも貯金の流出が起きているのですか。

A：決してそうではないんですよ。組合長がしっかりしている農協は、逆に貯金が増えていくこともあります。組合員の信頼をガッチリつかんでいるんですね。

Q：住専問題でも素直に自分たちの経営責任を取っておけば、こんなことにならなかったと思いますか。

A：その通りです。自分たちは政治力があるから何でもできるんだという思い上がりもあつたんでしょうね。

Q：それで、農協に預けている貯金は大丈夫ですか。

A：それは何も心配はありません。衆院の金融問題特別委員会でも、政府は今後5年間、金融機関の貯金は国が保証すると約束しています。つまり金融機関が潰れても国が責任をもって貯金の払い出しに応じるということです。

Q：ずっと安心していいのですか。

A：いいえ。5年後には制度が変わって、国による貯金の払い出しは上限10000万円までとなります。1億円預けていても、1000万円までしか国が保証してくれないんです。そうなれば、農協の組合員だからといって、農協へ無条件で貯金を預けにくるようなことにはなりません。大事なお金を預けるに相応しいかどうか厳しくチェックされますね。

Q：農協の経営はとも厳しくなりそうですね。

A：その通りです。監査も、内部ですませたり、あるいは経営内容の公開もしないなど、前近代的な経営はもう通用しません。ましてや補助金の窓口を独占してやる気のある農業経営者をいじめるような農協は真っ先に淘汰選別の対象になって、泡のように消えていきます。

## 質問・相談をお寄せください

編集部では読者の皆様からの質問・相談を募集しています。質問・相談は、氏名・住所・電話番号を明記の上、手紙かファクシミリでお寄せください（相談者の氏名・住所・電話番号を記事に掲載することはありません）。

宛先：〒169 東京都新宿区高田馬場4-30-19

株式会社農業技術通信社「農業経営者」編集部

Fax.03-3360-2698